

講義科目名称：日本国憲法

授業コード：

英文科目名称：Japanese Constitution

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(2-0)	選択必修科目
担当教員			
鈴木 淳一			

授業のテーマ及び到達目標	そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理を学んだ上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することで、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになることを目標とします。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス、法学概論</p> <p>第2回 近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ</p> <p>第3回 日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？）</p> <p>第4回 人権総論（人権の分類、他）</p> <p>第5回 法の下の平等</p> <p>第6回 子供の権利、新しい人権</p> <p>第7回 精神的自由 総論</p> <p>第8回 精神的自由 各論（表現の自由）</p> <p>第9回 表現の自由の現代的展開</p> <p>第10回 経済的自由（財産権保障の構造他）</p> <p>第11回 社会権（自由権とはどう違うのか？）</p> <p>第12回 その他の人権、まとめ</p> <p>第13回 統治総論</p> <p>第14回 国会および内閣</p> <p>第15回 裁判所、平和主義</p> <p>第16回 まとめ 期末試験</p>
授業の概要	まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に解説します。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。
予習	配付レジュメや教科書の該当箇所を読んで来てください。
復習	講義で指示した点を復習してください。
テキスト	初宿正典他著『いちばんやさしい憲法入門第4版』有斐閣アルマシリーズ（有斐閣）
参考書	初宿正典他著『目で見る憲法 第4版』（有斐閣）
評価方法・評価基準	<p>期末試験の結果：50% 授業への参加度：30% 授業態度：20% などから総合的に評価する。</p> <p><b>【DP 1～3との関連】</b></p> <p>.. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。</p> <p>○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。</p> <p>.. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</p>
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。

オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対する フィードバック方 法	.

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	1単位(1-0)	選択必修科目
担当教員			
安田 知子			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 「体育≒スポーツ」を通して、現代社会に生きる人々や自分自身の「体（からだ）と内面（こころ）」について認識し、よりよいライフスタイルを構築するための知識と態度を養うことができる。</p> <p>【到達目標】 スポーツをスポーツ医・科学的観点から学ぶことにより、①スポーツを行う「体 からだ」を解剖学的知識（部位や働き）と運動学的知識（動き方）から考えることができる。②スポーツによる外傷や障害の対処や予防、生涯における疾病の対処や予防に役立てることができるようになる。③障がい者スポーツを学ぶことにより、垣根のない楽しむスポーツ（生涯スポーツやユニバーサルスポーツ）について考えることができるようになる。</p>
授業計画	<p>第1回 コースオリエンテーション：体育・スポーツとは？健康とは？ これから学ぶ講義全体の流れの説明</p> <p>体育、スポーツについての考え方とスポーツ医・科学の概要について WHOによる健康の定義</p> <p>第2回 体育・スポーツ指導者に必要な医学的知識 スポーツ整形外科とスポーツ内科について 学校現場で起こるケガや病気について（統計データから読み解く）</p> <p>第3回 スポーツ・運動毎に特徴なケガや病気 運動種目の特性によって起こるケガや病気について</p> <p>第4回 体育・スポーツによって起こる事故について考える 脳震盪や重度障害の残る外傷について 事故を想定した体育・スポーツイベントを開催するにあたっての計画（グループワークと発表）</p> <p>第5回 健康診断とメディカルチェック 健康診断とは何か スポーツにおけるメディカルチェックとは何か 実際に簡単なチェックを実施する</p> <p>第6回 運動学① 体の動きを科学する 体の動き方の実際 体の動きを分析する（座学）</p> <p>第7回 運動学② 体幹と骨盤周囲の動きを科学する 簡単な運動を通して、体幹の動きを確認する</p> <p>第8回 運動学③ 下肢の動きを科学する 簡単な運動を通して、下肢（膝関節・足関節・足部）の動きを確認する</p> <p>第9回 運動学④ 上肢の運動を科学する 簡単な運動を通して、上肢（肩甲帯・肩・肘・手関節、手指）の運動を確認する</p> <p>第10回 熱中症は自分で防ぐ 水分補給と食事について考える コンビニやスーパーを使って食事メニューを考える（課題）</p> <p>第11回 応急処置 外傷に対するRICE処置と緊急時の一次救命処置（胸骨圧迫とAEDの使い方） スマホアプリから見る応急処置（課題）</p> <p>第12回 ユニバーサルスポーツ① 障がい者スポーツ 障がい者スポーツの定義と東京オリンピックの関係</p> <p>第13回 ユニバーサルスポーツ② 生涯スポーツ 生涯スポーツの考え方とグループワークにおける考案</p> <p>第14回 ユニバーサルスポーツ？ 生涯スポーツの発表 自分たちが考案したユニバーサルスポーツ・生涯スポーツをお互いに実践する</p> <p>第15回 まとめ この講義で学んだことの振り返りと提出された課題（第10回、第11回）のまとめ</p> <p>第16回 定期試験</p>
授業の概要	<p>授業は、座学及び簡単な実技とアクティブラーニングの手法を併用して進めていく。 「体育≒スポーツ」をスポーツ医・科学という視点から、人体を構成する骨や筋の構造と機能について学び、さらにそれらの組み合わせによる身体の動きを実践する。また、スポーツを整形外科や内科学といった医学的観点から、スポーツによる外傷や障害の対処や予防、生涯にわたる疾病の対処や予防について学ぶ。更に、障がい者スポーツを学ぶことにより、垣根のない楽しむスポーツ（生涯スポーツやユニバーサルスポーツ）について考え、自分たちで考案し、学生間で実践することにより、指導法についても学ぶ。</p>
予習	日常生活において健康、スポーツに関する情報を収集して授業に臨んでください。

復習	講義中に実技を行うことが難しいことがあるため、講義内容の理解を深めるために講義外(日常生活)での実技(実践)を心がけてください。さらに実践を行ったうえで、積極的な質問を期待します。
テキスト	テキストは使用しない。講義ごとに適宜資料を配布する。
参考書	①目で見える動きの解剖学—スポーツにおける運動と身体メカニズム—(ロルフ・ヴィルヘッド著、大修館書店、1994年版、2600円程度) ②基礎運動学 第6版 補訂(中村隆一・齊藤宏・長崎浩著、医歯薬出版、2003年、7400円程度)
評価方法・評価基準	①期末試験(60%) ②毎回の講義終了時に提出する簡単な課題(15%) ③レポート課題(15%) ④受講者の発表(10%)  【DP 1~3との関連】 .. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。 ○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」(キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー)をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。 .. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。
履修上の注意	講義中に体を動かすことがあります。事前にお知らせいたしますが、運動に適した服装で出席してください。
オフィスアワー	在学時間(授業時間及び前後30分)
課題に対するフィードバック方法	必要に応じて、質問等はメールでお願いいたします。

講義科目名称：体育実技

授業コード：

英文科目名称：Physical Education (Sports)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	1単位(0-3)	選択必修科目
担当教員			
音野太志・喜屋武享			

授業のテーマ及び到達目標	1) スポーツの楽しさ、喜びを味わうことができる。 2) スポーツに対して、「真剣に」「コミュニケーションを図りながら」実践することを通し、諸課題を解決しながら、個人またはグループの成長プロセスに介入できるようになる。
授業計画	<p>第1回 コースオリエンテーション(授業概要、目標、成績評価方法、等) 講義の進め方、注意点、評価方法等の説明を行う。 初回のアイスブレイクとして、全員で楽しめるスポーツを行う。</p> <p>第2回 ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループに別れて練習を行う。 後半は、楽しめるようにルール変更した状態でゲームを行う。</p> <p>第3回 ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループに分かれて練習を行う。 後半は、前回より若干難易度をあげてゲームを行う。</p> <p>第4回 ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第5回 ソフトバレーボール：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第6回 インディアカ：練習、ゲーム 前半はグループに別れて練習を行う。 後半は、楽しめるようにルール変更した状態でゲームを行う。</p> <p>第7回 インディアカ：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第8回 インディアカ：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第9回 ドッジビー：練習、ゲーム 前半はグループに別れて練習を行う。 後半は、ドッジビーに慣れる様、簡易的なゲームを行う。</p> <p>第10回 ドッジビー：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第11回 ドッジビー：練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第12回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループに別れて練習を行う。 後半は、ゲームを理解するために練習試合を行う。</p> <p>第13回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>第14回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p> <p>第15回 ドッジビー：アルティメット、練習、ゲーム 前半はグループ毎に練習を行う。 後半は、前回の続きとして評価対象となるリーグ戦を行う。</p>
授業の概要	ドッジビー、ソフトバレーボール、インディアカをとりあげる。毎授業では練習と試合を実施する。個人とグループの諸課題について、1)実践 2)ふりかえり 3)次の課題設定 4)実践というプロセスを繰り返すことによって、個人またはグループの成長プロセスを考える機会とする。
予習	体調を整えて授業に備える。
復習	授業内容を振り返り、次の授業に備える。
テキスト	特になし
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>授業への参加度60点 実技評価40点 計100点による。実技評価は、各種目のゲーム結果とする。</p> <p>【DP 1～3との関連】 .. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と</p>

	<p>教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。</p> <p>○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。</p> <p>.. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</p>
履修上の注意	<p>1) 体育館用のシューズを準備し、運動にふさわしいウェアで参加すること。</p> <p>2) 金属製のピアス、ネックレス、ブレスレット等、人を傷つけ、傷つけられる恐れのあるモノは外すこと。</p> <p>3) その他の注意事項は初回授業時に伝達する。</p>
オフィスアワー	音 野：授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	授業中にプレーに対してのアドバイスを行う。

講義科目名称：基礎英語コミュニケーション

授業コード：

英文科目名称：Basic English Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位	選択必修科目
担当教員			
Michael Hertz			

授業のテーマ及び到達目標	今日の保育園や幼稚園でますます必要とされる英語でのコミュニケーションの習得と、海外留学を希望する学生にとって役立つ知識の習得を目標とする。
授業計画	<p>第1回 保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する。</p> <p>第2回 定番のゲームを行い、英語を使用・理解する力を身につける。</p> <p>第3回 ゲームの構成を噛み砕いて説明し、ゲームから得られる教訓を理解する。</p> <p>第4回 童謡を学び、実際に合唱する。</p> <p>第5回 児童向けのダンスを学び、練習する。</p> <p>第6回 楽しみながら、言語的・非言語的なスキルを構築する。</p> <p>第7回 簡単なスキット(寸劇)に参加する。</p> <p>第8回 絵本の読み聞かせをし、絵本に隠された趣旨を読み取る。</p> <p>第9回 良い例から、授業の進め方・児童の扱い方を学ぶ。</p> <p>第10回 悪い例から、授業の進め方・児童の扱い方を考える。</p> <p>第11回 グループワークに取り組む。</p> <p>第12回 基本的な英語の発音を学び、練習する。</p> <p>第13回 図画工作(詳細は未定)</p> <p>第14回 海外渡航に備える。</p> <p>第15回 児童を褒めるテクニックについて学ぶ。</p>
授業の概要	簡単なスキット(寸劇)、童謡の合唱、ゲームや講義を通して、学生の能力を向上させ、自信をつける。楽しく活発なクラスになるよう計画されており、保育でのキャリアを構築する為の踏み台ともなりうる。
予習	次回のレッスンのために、自分で考えてレッスンの準備をする。
復習	授業で学んだことを応用して実践する。
テキスト	追加で連絡がない限り、必要に応じて講義担当者が準備・配布する。
参考書	特になし
評価方法・評価基準	<p>講義参加度(態度、プレゼンテーション等)、個人およびグループワークを総合的に評価する。</p> <p><b>【D P 1～3との関連】</b></p> <p>.. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。</p> <p>○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」(キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー)をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。</p> <p>.. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスへの参加が最も重要視されるので、欠席しないように。</li> <li>・グループや個人での発表は積極的に取り組むこと。</li> <li>・正当な理由以外での欠席は認められません。よってそれ以外の欠席は届けなくてもよい。(公欠のみ提出)</li> <li>・出席状況については各自で確認すること。</li> </ul>
オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。

課題に対する  
フィードバック方  
法

.

講義科目名称： 実用英語コミュニケーション

授業コード：

英文科目名称： Practical English Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位	選択必修科目
担当教員			
Michael Hertz			

授業のテーマ及び到達目標	今日ますます必要とされる英語コミュニケーションスキルの習得、それから、初級英語の習得・海外留学・様々な場面や保育を含む幅広い業界で使用される会話スキルの習得を志す学生に役立つ知識と見識の構築を目標とする。		
授業計画	第1回	言葉やボディランゲージでのコミュニケーションスキルの構築	
	第2回	会話に必要なボキャブラリーの学習	
	第3回	仕事で求められるボキャブラリーの学習	
	第4回	発音の土台を構築	
	第5回	様々な状況で使えるフレーズの練習	
	第6回	定番ゲームを使った英語理解	
	第7回	英語使用に対する自信の構築とそれに伴う達成感や成功体験	
	第8回	自分に打ち勝つこと、モチベーションを高めること。	
	第9回	成功に向けてプレッシャーや壁を突破：やりたいことVSやるべきこと	
	第10回	アルバイトの面接の質疑応答対策	
	第11回	英語での数字の読み方を練習	
	第12回	簡単なスキット(寸劇)への参加	
	第13回	簡単な歌やダンスの体験	
	第14回	道案内のしかた	
	第15回	海外旅行・留学に欠かせない単語	
授業の概要	学生は、英語の言語能力と理解力をつけ、自信を高める為に様々なアクティビティや講義に参加する。次学期以降の履修クラスに必要なスキルの習得に重点をおいた楽しく啓発的なクラスである。		
予習	次のレッスンのために、自分で考えてレッスンの準備をする。		
復習	授業で学んだことを応用して実践する。		
テキスト	追加で連絡がない限り、必要に応じて講義担当者が準備・配布する。		
参考書	特になし		
評価方法・評価基準	講義参加度（態度、プレゼンテーション等）、個人・グループ課題を総合的に評価する。  【D P 1～3との関連】 .. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。 .. 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。 ○ 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスへの参加が最も重要視されるので、欠席しないように。</li> <li>・グループや個人での発表は積極的に取り組むこと。</li> <li>・正当な理由以外での欠席は認められません。よってそれ以外の欠席は届けなくてもよい。(公欠のみ提出)</li> <li>・出席状況については各自で確認すること。</li> </ul>		
オフィスアワー	(仮) 授業終了後に質問を受け付けます。		

課題に対する  
フィードバック方  
法

.

講義科目名称：中国語

授業コード：

英文科目名称：Chinese

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前・後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修科目
担当教員			
武村 朝吉			

授業のテーマ及び到達目標	<p>【テーマ】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を習得する。</p> <p>【到達目標】 基本的な文法事項を理解（36個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができるレベルを目標とする。</p>
授業計画	<p>第1回 授業概要の説明。中国語の発音（1）。授業の進め方、評価の基準についての説明。中国語の子音・母音の発音の仕方。</p> <p>第2回 中国語の発音（2）。中国語の声調（1）。有気音と無気音の発音の仕方。巻舌音の発音の仕方等。中国語の声調のコントロールについての説明。</p> <p>第3回 第1課：中国語の声調（2）。形容詞述語文（1）。疑問文。中国語の声調コントロールの練習。いろいろな形容詞述語文。“？”を用いた疑問文。</p> <p>第4回 第2課：形容詞述語文（2）。基数。いろいろな形容詞述語文。数字の数え方（1～10）。第2課の会話。</p> <p>第5回 第2課：練習。入れ替え練習。数字の数え方（1～31）。日付表現の練習。</p> <p>第6回 第3課：肯定文と否定文。肯定文と否定文の作り方。“？”を用いた疑問文。第3課の会話。</p> <p>第7回 第3課：練習。入れ替え練習。月・年の言い方。</p> <p>第8回 第4課：自己紹介の仕方など。動詞「是」。自己紹介の仕方、相手の名前前の訊き方。動詞「是」の使い方。第4課の会話。</p> <p>第9回 第4課：練習。入れ替え練習。国籍の言い方。</p> <p>第10回 第5課：疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」。中間試験。いろいろな疑問詞を用いた疑問文。動詞「在」の使い方。第5課の会話。中間試験。</p> <p>第11回 第5課：中間試験解説。練習。中間試験解説。入れ替え練習。「ちょっと～します。」「あなたはどこへ行きますか？」。</p> <p>第12回 第6課：名詞述語文。時間副詞。誘い方。いろいろな名詞述語文。「夜あなたは何をしますか？」「～するのはどうですか？」。第6課の会話。</p> <p>第13回 第6課：練習。入れ替え練習。「明日は何曜日ですか？」「午後彼の家に彼に会いに行きます。」。</p> <p>第14回 第7課：「動詞＋目的語」構造。「動詞＋介詞＋目的語」構造。文末の「了」。「動詞＋目的語」「動詞＋介詞＋目的語」構造の用いられ方。語気助詞「了」の文法的意味。第7課の会話。</p> <p>第15回 第7課：練習。入れ替え練習。「（どこどこ）で（何々を）します。」「あなたは（兄弟姉妹）がいますか？」</p> <p>第16回 期末試験</p>
授業の概要	中国語のピン音（発音記号）の概要を説明するとともに、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、会話練習、作文練習を行う。
予習	授業内容を事前に目を通しておくこと。
復習	ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。
テキスト	『漢語会話301句』康玉華・来思平著作、語文研究社
参考書	中日辞典など
評価方法・評価基準	<p>中間試験及び期末試験80% 授業参加度・発表20%。</p> <p>【D P 1～3との関連】</p> <p>.. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。</p> <p>○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。</p> <p>.. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</p>

履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。
オフィスアワー	（仮）毎週**曜日 **限目 武村研究室
課題に対するフィードバック方法	授業中逐次フィードバックする。

講義科目名称：韓国語

授業コード：

英文科目名称：Korean

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1～2年	2単位(0-2)	選択必修科目
担当教員			
李 春花			

授業のテーマ及び到達目標	<p>本授業を通し、韓国語のみならず隣国である韓国の文化や社会に対する理解を深め、21世紀の主演として、国の境界線を越えたグローバルな視点を養い、将来様々な形で国際的交流に役立つ能力を身につける。</p> <p>知識理解：ハングル文字を読み書き、易しい日常会話と発音を聞き話し、簡単な文法を説明できる。</p> <p>関心意欲：異文化コミュニケーションに興味を持てる。</p> <p>態度：専門性、責任意識を持つ。</p> <p>思考判断：日本と韓国との文化や社会的共通点と相違点を指摘できる。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション／韓国を知る・ことばの特徴・ハングル文字 韓国を知るDVD『子犬の糞』の鑑賞を行う。韓国の歴史と文化と共に歩んできた韓国語のことばの特徴・ハングル文字の背景と仕組みについての紹介を行う。</p> <p>第2回 テキスト第1課 挨拶表現(1)と母音(1)、歌の学習 簡単な挨拶表現の会話文と一般的な自己紹介の仕方、《ハムニダ体とヘヨ体の違い》について紹介し、その会話文の発音の練習を行う。ハングル文字の基本母音の文字8つとその音価の読み書きについての文法の説明を行い、発音の練習を行う。韓国の歌『アヒラン』、『熊三匹』、『君は愛されるために生まれた』のMVを紹介し、韓国語で歌う練習を行う。</p> <p>第3回 テキスト第2課 挨拶表現(2)と子音(1)・母音(2) 初対面の挨拶表現の会話文や《敬語の遣い分け》についての歴史的文化的背景の紹介を行い、その会話文の発音練習を行う。ハングル文字の基本子音9つの文字、その名称や発音の音価と、母音(や行音)6つの文字とその発音の音価の読み書きについての文法の説明を行い、発音の練習を行う。K-popのMVの紹介を行う。</p> <p>第4回 テキスト第3課 挨拶表現(3)と子音(2)・母音(3) 「立ち去る人」と「居残る人」に遣い分ける別れの挨拶表現の会話文や、《日本語話者にとって語彙を増やしやすい漢字語》についての紹介を行い、その会話文と単語の発音の練習を行う。ハングル文字の子音(激音5つと濃音5つ)の文字、その発音の音価や名称と、母音(わ行音)7つの文字、その発音の音価と読み書きについての文法の説明を行い、発音の練習を行う。K-popのMVの紹介を行う。</p> <p>第5回 テキスト第4課 挨拶表現(4)と終声(パッチム) 感謝の挨拶表現の会話文や《日常でよく使う単語》についての紹介を行い、その会話文と単語の発音の練習を行う。ハングル文字の子音の代表終声(パッチム)の7つの文字、その発音の音価や名称の読み書きについての文法の説明を行い、発音の練習を行う。K-popのMVの紹介を行う。</p> <p>第6回 テキスト第5課 挨拶表現(5)と発音の変化 謝罪の挨拶表現の会話文についての紹介を行い、その会話文の発音の練習を行う。ハングル文字の発音変化の規則8つ(有声音化、連音化、濃音化、激音化、鼻音化、ヒュt弱音化、流音化、ニウn挿入)についての文法の説明を行い、その用例の単語の発音の練習を行う。</p> <p>第7回 テキスト第6課 自己紹介と指定詞 プリント配分の初対面の挨拶表現と自己紹介をまとめた会話文や、《ハングルによる日本語表記法》についての紹介を行い、その会話文と単語の発音の練習を行う。その会話文に基づいて指定詞(～だ)のハムニダ体とヘヨ体の平叙形(～です)と疑問形(～ですか)などの文法についての説明を行う。</p> <p>第8回 テキスト第7課 お住まいの会話と指定詞の否定形、学生のレポート発表&amp;意見交換1 プリント配分のまとめの配分のお住まいの会話文や疑問詞6つの用例についての紹介を行い、その会話文と用例の発音の練習を行う。その会話文に基づいて指定詞の否定形(～ではない)のハムニダ体とヘヨ体の平叙形(～です)と疑問形(～ですか)などの文法や、《分かち書き》についての説明を行う。学生によるレポート発表とその主題についての感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第9回 テキスト第8課 趣味の会話とハムニダ体(改まりの上称形)、学生のレポート発表&amp;意見交換2 プリント配分の趣味の会話文や《趣味をあらわす単語》について紹介し、その会話文と単語の発音の練習を行う。その会話文に基づいて形容詞や動詞のハムニダ体(～です/～ます)の平叙形(～です)と疑問形(～ですか)などの文法や《姓名と人名表記》についての説明を行う。学生によるレポート発表とその主題についての感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第10回 テキスト第9課 会話(1)と漢数字、学生のレポート発表&amp;意見交換3 プリント配分のまとめの会話文(1)について紹介し、その会話文の発音の練習を行う。漢数詞や月の数え方などの文法についての説明を行う。韓流ドラマの紹介を行う。学生によるレポート発表とその主題についての感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第11回 テキスト第10課 会話の(2)と固有数字、学生のレポート発表&amp;意見交換4 プリント配分のまとめの会話文(2)について紹介し、その会話文の発音の練習を行う。固有数詞や時刻の表し方などの文法についての説明を行う。韓流ドラマの紹介を行う。学生によるレポート発表とその主題についての感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第12回 まとめ・授業内試験(会話) プリント配分のまとめの会話文(1)(2)をもとに口頭試験として先生と学生の対面で聞いて話してもらう。ただし、その口頭試験を待つ学生や終わった学生はプリント配分のシートワークを書いてもらう。</p> <p>第13回 復習や授業についての意見交換 講義で学んだことをもとにハングル文字の母音と子音の文字についてのまとめの復習を行う。韓国語を学んでの感想や授業についての意見を述べてもらう。</p> <p>第14回 韓国映画鑑賞および意見交換(前編)</p>

	<p>韓国映画を鑑賞しながら、歴史的文化的背景についてのコメントを行う。映画鑑賞後、その感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第15回 韓国映画鑑賞および意見交換（後編）</p> <p>韓国映画を鑑賞しながら、歴史的文化的背景についてのコメントを行う。映画鑑賞後、その感想や意見を述べてもらう。</p> <p>第16回 定期試験（筆記：ハングル文字）</p> <p>プリント配分の終業日の会話文についての紹介を行い、その会話文の発音の練習を行う。その会話文に基づいて過去形についての文法の説明を行う。講義で学んだことをもとに期末テストとしてハングル文字の母音と子音を書いてもらう。</p>
授業の概要	<p>韓国語の語順は日本語とほとんど同じなので、初めての学習者でもわかりやすい。初めての学習者でもわかりやすく楽しめるように常に心がけ、ハングル文字の学習、易しい日常会話を中心に基本文法を扱い、講義を進めながら、韓国文化と歴史、韓国人とのコミュニケーションの取り方、DVDやインターネット等の視聴覚材料をもって韓国の歌やドラマ及び映画などを紹介する</p>
予習	<p>テキストを事前によく読み、新しい会話表現と基本文法の知識を再確認しておくこと。</p> <p>各回、約1時間の事前学習を要する。</p>
復習	<p>授業の際に指示した課題に積極的に取り組み、講義の内容をより理解し、応用に努めること。</p> <p>各回、約1時間の事後学習を要する。</p>
テキスト	<p>姜英淑外5人著『楽しく学ぶ ハングル1』白帝社</p>
参考書	<p>入佐信宏・文賢珠著『よくわかる 韓国語STEP1』白帝社</p> <p>木内明著『基礎から学ぶ 韓国語講座 初級』国書刊行会</p>
評価方法・評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験40%（会話：自己紹介等のフリートーク10%、筆記：ハングル文字30%）</li> <li>・毎回の課題提出（会話とハングルに関する学習）20%</li> <li>・韓国文化についてのレポート提出（A4用紙1～2枚）&amp;発表（3分程度）20%</li> <li>・授業への参加度（遅刻や私語等減点）10%</li> <li>・数回の小テスト10%</li> </ul> <p>【D P 1～3との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。</li> <li>○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。</li> <li>.. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</li> </ul>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に発音練習、レポート発表&amp;意見交換などに積極的に参加すること。</li> <li>・授業内容の変更がある場合がある。</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業終了後、教室で質問の受け付けをする。</li> <li>（仮）・メールで質問に答える。（メールアドレスは、初回授業でお知らせします）</li> </ul>
課題に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題及び授業内の小テストは評価後、授業内でその都度返却する。</li> </ul>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	選択必修科目
担当教員			
又吉 パトリシア			

授業のテーマ及び到達目標	<p>① 初めてスペイン語を学ぶ学生がスペイン語の基礎文法を習得し、簡単な文と作文を書けるようになる。</p> <p>② 口頭で受け答えに慣れ、会話や自己紹介を発表ができるようになる。</p> <p>③ スペイン語圏の国々の事情及び文化などをに関する入門的な知識を学び、異文化理解を深めることができるようになる。</p>
授業計画	<p>第1回 !Bienvenidos al Mundo del espanol! スペイン語の世界へようこそ! ① オリエンテーション：授業の進め方、注意点と評価法の説明する。</p> <p>② QUIZで世界におけるスペイン語、スペイン語圏の国々、沖縄と中南米諸国との関係を学習する。</p> <p>第2回 El alfabeto y la pronunciacion del espanol スペイン語のアルファベットと発音 (Introduccion) ① スペイン語のアルファベットを覚える。(p.7) ② スペイン語の綴りを見て、正しく発音をとイントネーションを身に着ける。(p.7~9) ③ スペイン語のアクセントのルールを学ぶ。(p.9)</p> <p>第3回 Saludos y frases basicas あいさつと基本表現 ① 前回授業で学んだスペイン語の発音とイントネーションに注意しながら教室内と日常生活で使う基本表現を覚える。(p.6) ② ペアであいさつの会話練習する。(p.6)</p> <p>第4回 ①テスト1 ② ?De donde eres? 君はどこ出身ですか? (Leccion 1) ① テスト1(アルファベット、発音、アクセントと基本表現) ② 主格人称名詞を覚える (p.10) ③ 英語のBE動詞をと比べながらスペイン語のSER動詞の使い方と活用に慣れるようになる。(p.10)</p> <p>第5回 ④ 自己紹介を言う又相手を紹介する(SER動詞+名前、国と国籍、職業)(p.10~13) Un cafe y dos churros, por favor. コーヒーとチュエロス2本を下さい。(Leccion 2) ① スペイン語の名詞の性の区別を見分ける。(p.14) ② 名詞の複数形の作り方を学ぶ。(p.14) ③ 名詞の定冠詞と不定冠詞の作り方と使い方の違いを学ぶ。(p.14) ④ 数字0~15覚える。(p.74)</p> <p>第6回 ⑤ バル、レストラン、お店等での注文の会話練習する。 ?Donde esta la universidad? 大学はどこにありますか? (Leccion 2) ① ESTAR動詞の直接法現在形の活用を覚える。(p.14) ② 場所を表す単語、お店や公共施設などの語彙を覚える。(p.14と17) ③ 場所を尋ねたら説明するの会話練習する。(p.14と17)</p> <p>第7回 ?Que hay cerca de la universidad? 大学の近くに何がいますか? (Leccion 2) ① 存在を表す:HAY動詞を使って練習する。(p.17) ② ESTAR動詞(所在)とHAY動詞(存在)の使い分けを学ぶ。(p.14~17)</p> <p>第8回 ①テスト2 (Leccion 1 y 2) ② ?Que fecha es hoy? 今日の日付は何ですか? ① テスト2 (Leccion 1 y 2: p.10~17) ② 数字:16~100、曜日、月の語彙を覚える。(p.74) ③ 日付、誕生日、電話番号などを尋ねる会話練習する。</p> <p>第9回 !Que dulce y rico! 何と甘くておいしい! ① 性格や品質を表す形容詞を覚える。(p.18) ② 形容詞の位置と名詞の性数に合わせての変化の仕方を学ぶ。(p.18と20) ③ 簡単な感嘆文や物・人の特徴などを述べる表現の会話練習する。</p> <p>第10回 La habitacion es pequena pero esta ordenada. 部屋は小さいけど整頓されている。 ① SER動詞とESTARの活用うを復習する。(p.18) ② SER動詞(性質)とESTAR動詞(一時的な状態)の使い分けを学ぶ。(p.18~21)違いと</p>

	<p>使い分けを学ぶ。(p.18~21) ? Como es tu ciudad? あなたが住んでいる町はどんな街ですか? ① SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分けの再確認</p> <p>② 所有形容詞と名詞の性と数に合わせての変化を学ぶ。(p.72)</p> <p>③ 家族のに関する語彙を覚える。(プリント)</p> <p>④ 人や場所などの説明する会話をする。(p.21とプリント)</p> <p>第12回 ① テスト3 (Leccion 3) ② ? Que estudias en la universidad? 大学で何を勉強していますか? ① テスト3 (Leccion 3: SER, ESTARとHAY動詞、形容詞、所有形容詞) (p.18~21と72)</p> <p>② -ar動詞の直説法現在形の活用を覚える。(p.22と24)</p> <p>③ -ar動詞を使って相手に質問する練習する。(p.25)</p> <p>第13回 Mi familia vive en la Isla de Kumejima. 私の家族は久米島に住んでいます。 ① 前回の授業で学んだ-ar動詞の直説法現在形の活用を確認する。(p.22~25)</p> <p>② -er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用法覚える。(p.26~28)</p> <p>③ 前置詞を学び、短い文を書き練習する。(p.22とプリント)</p> <p>④ 日常生活や家族などについて尋ねる会話練習をする。(プリント)</p> <p>第14回 Estudiamos español en la universidad los miercoles. 毎週水曜日大学でスペイン語を勉強します。 ① -ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用を確認する。(p.26~29)</p> <p>② 学んだ文法項目、語彙を使ってスペイン語で日常生活について作文を書く。</p> <p>第15回 ① Examen de conversacion 会話テスト ② Repaso 復習 ① 授業で学んだ文法項目、語彙などを使ってペアで会話する。</p> <p>② Lecciones 4と5の文法項目や語彙の復習練習する。(p.22~29)</p> <p>第16回 期末試験 (Lecciones 4 y 5) -ar動詞、-er動詞と-ir動詞の直説法現在形の活用。(p.22~29)</p>
授業の概要	世界のスペイン語を話す人口は現在およそ5億人以上といわれ、スペインだけでなくラテンアメリカの19の国々でも公用語として使用されている。特に沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的、文化的な交流が活発に行われている状況にある。講義では教科書だけではなく、副教材として歌や映像などを使って、スペイン語圏の世界を紹介する。
予習	教科書やプリントなど事前によく読み、語彙と文法を再確認しておくこと。 各回、約2時間の事前学習すること。
復習	1. 授業で学んだ文法、語彙、表現などを暗記し、自然に言えるように努めること。 2. 動詞の活用を覚えるために、書いたり声に出したりして何度も練習しておく。 3. 各回、約2時間の事後学習すること。
テキスト	1. 『OKINAWA LATINA』スペイン語への架け橋 (沖縄県スペイン語教材開発研究会) (¥1,000)
参考書	1. 講師作成資料 2. インターネットでスペイン語に関するHP、画像、映像などを検索し、勉強の参考や復習にする。 2. 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社(¥2,800)、またはスペイン語電子辞書
評価方法・評価基準	最終評価は次の点の合計点とする: 1. 筆記テスト4回とQuiz(60点) 会話テスト(10点) 2. 宿題及び課題の提出 (20点) 3. 授業態度と参加 (10点) 注意: 授業総時間数の1/3 (5回)以上欠席した場合は単位を与えない。  【DP 1~3との関連】 .. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。 ○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」(キリスト教、表現技法、コンピュータ・リテラシー)をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。 .. 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。
履修上の注意	1. ノート、筆記用具、テキストと出席表を毎回持参すること。 2. 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 3. 毎回QUIZまた小テストを実施するため宿題、予習、復習等をこなすこと。 4. 授業中はマナーを守ること(携帯電話・スマートフォン、タブレット等の使用禁止、遅刻しないこと、居眠りと飲食の禁止) 5. その他は最初の授業のオリエンテーションで説明する。
オフィスアワー	質問・相談などは、授業終了後にすること。 注意: メールでの対応は行いませんので、必ず授業終了後に受け付ける。
課題に対するフィードバック方法	授業内で行う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位(0-2)	必修科目
担当教員			
内間清晴・高江洲義尚			

授業のテーマ及び到達目標	<p>PCの基礎的操作方法を習得させる。具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法等が実践的に修得できる。</p> <p>(1) 基本的な情報倫理の理解ができる。  (2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。  (3) 200字以上/1分間のタイピング能力が身についている。  (4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。  (5) ワープロによる文章の作成ができる。  (6) 表計算ソフトによる数値情報の分析ができる。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：①パソコンの概念 ②使用登録・パスワードの設定 ③電子メールの設定  ①パソコンの歴史、基本的な情報倫理を扱う。  ②各学生に配布されているパスワードのおよび電子メールの設定を行い、使用できるようにする。</p> <p>第2回 パソコンの概念：①Windowsの基本操作 ②OSの基本操作 ③インターネット  ①Windowsの歴史、OSの種類について学び、実際にインターネットを使用できるようにする。</p> <p>第3回 Word2016：①Wordの基本操作 ②文章の作成保存  ①Word2016を起動させ、ページレイアウトを設定し、文書を入力し保存ができる。</p> <p>第4回 Word2016：①文字のデザイン  ①フォントサイズの変更、カラー、スタイルの変更ができる。  ②文字列の変更、文字の下線、網かけ、段抱く番号、行間の設定等ができる。</p> <p>第5回 Word2016：①ビジュアル要素の設定（チラシ作成）  ①基本デザイン、罫線による行全体のデザイン、テキストボックスで文字のデザイン等ができる。  ②画像の挿入および編集ができる。</p> <p>第6回 Word2016：①可能性の高いデザイン（ポスター作成）  ①テキストボックスでレイアウト、均等割付けおよび割注等の設定ができる。  ②図形の挿入、テキストボックスのスタイル変更およびモニターの画像の文書内貼付け等ができる。</p> <p>第7回 Word2016：①段組み 縦書きレイアウト  ①段組みおよびヘッター・フッターの設定ができる。  ②縦書き2段組みレイアウト作成ができる。</p> <p>第8回 Word2016：①表の作成 ②表の編集  ①表の作成。行と列の挿入およびセルの分割・結合ができる。  ②表をテキストボックス化ができる。</p> <p>第9回 Word2016：①はがきデザイン（ラベル作成）  ①はがきサイズにページ設定ができる。  ②挨拶文の自動入力ができる。  ③名刺のラベル作成およびデザインができる。</p> <p>第10回 Excel2016：①Excelの基本操作 ②データ入力  ①Excel2016を起動させ、画面の名称と機能を知る。  ②データを入力し、セル幅・高さの変更および数値の表示形式の変更等ができる。</p> <p>第11回 Excel2016：①計算式の設定 ②関数設定  ①数式を入力し計算ができる。  ②計算式のコピーおよびオートサムSUMでの合計計算ができる。  ③平均値、最大値・最小値を求める事ができる。</p> <p>第12回 Excel2016：①データの条件設定  ①条件付き書式の設定ができる。  ②If関数の条件設定ができる。</p> <p>第13回 Excel2016：①集計表作成 ②グラフ作成  ①行と列の合計が同時にできる。  ②絶対参照を使う事ができる。  ③グラフを作成し、種類の変更ができる。</p> <p>第14回 Excel2016：①データの並べ替え ②データ検索  ①データベースの構造が理解できる。  ②データベースの並べ替えができる。  ③データの検索および抽出ができる。</p> <p>第15回 Excel2013：①データへ分析 ②まとめ  ①予想シートが作成できる。  ②相関をもとめる事ができる。</p>
授業の概要	<p>① コンピューター操作の基本的な知識・技能を習得し、究極的には情報を自由に検索、享受、処理、加工、創造、発信が行えるような情報リテラシーを育て、コンピューターを日常使いこなせるための基礎を学ぶ。また、情報化社会へ参画する姿勢についても学ぶ。</p> <p>② 毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。（15回分の講義内容は指定フォルダ内にあります。）</p>

予習	指定されたフォルダ（イントラネット）から1～15回までの講義内容を常に確認し、次回の講義内容を確認し、予習する。
復習	毎回の講義内容を復習し、与えられた課題を行う。
テキスト	『例題35+演習問題65でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト(office 2016 対応版)』
参考書	よくわかるWordデータ，よくわかるExcelデータ
評価方法・評価基準	<p>課題80点, タイピング10点, 授業への参加意欲10点  全36までの課題の提出状況（提出した課題内容が不十分なときは、再提出させます。）  タイピングの能力</p> <p><b>【D P 1～3との関連】</b>  .. 1 本学院の建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身に付ける意欲をもつ。  ○ 2 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学分野等の総合的な教養を習得する。  ○ 3 情報化社会に対応するために、広い教養力に基づく論理的・批判的思考力を習得する。</p>
履修上の注意	各自USBメモリーを準備すること  演習の授業です。受け身にならず、積極的に課題に取り組んで下さい。
オフィスアワー	内間：金曜日（14:40～16:00）内間研究室 上記の時間以外でも対応可能（事前予約必要） 高江洲：（仮）授業終了後に質問を受け付けます。
課題に対するフィードバック方法	提出してもらった課題の状況を定期的にチェックし、学生各自にフィードバックを行います。提出した課題の内容が不十分な場合には再提出してもらいます。